

# 芸術祭の ディレクション / キュレーション

中小規模の芸術祭で私たちは何ができるか。

2025.2.18 (火)  
14:00-17:00【二部制】

京都市立芸術大学  
C棟5階 講義室 11  
【途中入退出可・参加無料】



## 小國 陽佑

下町芸術祭 ディレクター  
神戸六甲ミーツ・アート 2024.25 キュレーター

## 佐々木 樹

兵庫県立大学環境人間学部 特任助教  
NPO 法人みなとメディアミュージアム アーティス  
ティック・ディレクター

## ディスカッサント 加須屋 明子

京都市立芸術大学・総合芸術学専攻教授  
たつのアート実行委員会代表

## 松村 大地

東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科  
下町芸術祭 2021 参加アーティスト  
同関連プログラム ディレクター

## 河崎 伊吹+西川 瞭

みなとメディアミュージアム 2024 プラクティショナー  
大阪大学大学院人文学研究科 (河崎)  
滋賀県立大学大学院人間文化学研究科 (西川)

主催：かんさいびじゅつの会  
共催：京都市立芸術大学加須屋明子研究室・NPO 法人芸法  
助成：2024年度 京都市「Arts Aid KYOTO」  
次回予告「キュレーションの批評(性)」ゲスト：菅原伸也×田中功起

参加申込はこちら！  
【先着 25 名】



かんさいびじゅつの会では、美術制作 / 芸術理論 / 建築 / デザインなど多領域から参加者が集まり、主に展覧会や芸術祭について自主研究会やフィールドワークを実施してきました。この度は、主に2つの芸術祭からディレクター / キュレーターをゲストにお招きして、シンポジウム形式の公開研究会を開催します。中小規模の芸術祭では、「誰がどこで」といった芸術のインフラ自体を創造することもディレクション / キュレーションに求められます。その性質は、芸術祭で展開される芸術の作品内容にも大きな影響を与えています。第1部ではディレクター同士によるプロジェクト間の比較を通して、第2部ではプロジェクト内でのディレクター / キュレーターとアーティストの協働関係に焦点をあてます。